

佐賀県退職校長会

1 佐賀県退職校長会の概要

- ＜沿革＞ 佐賀県退職校長会は、昭和40年(1965年)全国連合退職校長会結成の気風に呼応し、長年にわたり校長として研鑽してきた教育的識見と経験を、退職後も継承発展させたいという意志と情熱をもって結成されました。
- ＜目的＞ 本会は、本県教育の振興に寄与するとともに、会員の親睦と福祉の増進を図ることを目的としています。
- ＜会員＞ 本会は、退職校長をもって組織し、昭和52年(1977年)に現職校長も賛助会員として加入しています。令和6年度の会員数は1,205名、賛助会員は278名です。本会は任意加入を原則としていますが、加入率は高く、全国のなかでも上位にあります。

令和6年8月に、退職校長会のホームページを開設しました。

URL: <https://saga-taikoukai.jp/>

二次元コード→



是非、ご覧ください。

佐賀県教育の応援団

つながり合い

- 1 現職校長会や関係団体及び退職校長会の会員相互でつながり合い、学校教育のニーズを把握することに努めています。
- 2 ホームページを開設し、活動状況などの情報を適宜提供しています。
- 3 全国や九州地区の退職校長会とつながり合い、教育課題解決に向けて、文部科学省等に要望活動を行っています。

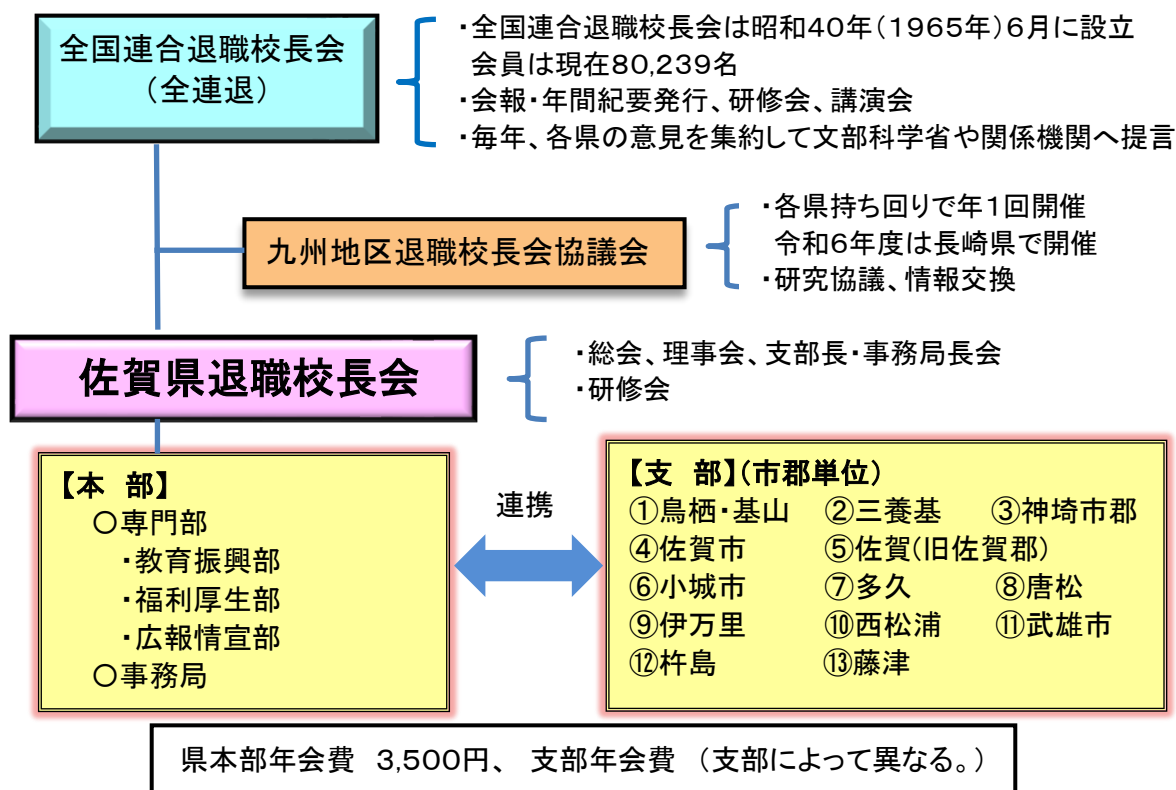
支え合い

- 佐賀県教育の応援団として幅広く活動しています。
- 1 学校関係
特任指導教諭、再任用教員、講師、学校評議員等
 - 2 教育行政・社会教育・地域教育委員、公民館長、自治会役員、民生委員・児童委員、人権擁護員等
 - 3 作文コンクール等の審査員
 - 4 令和6年4月に人材バンクを作成しました。今後も引き続き充実させていきます。

たのしむ

つながり合い、支え合うために、健康維持に努めていくことが大切です。退職校長会の福利厚生行事に参加して、多くの人と楽しんでいます。また、教員として培ってきた知識や経験を活かし、周囲の人の役に立つことで、自分の生きがいにつながっています。

2 退職校長会の組織



3 佐賀県退職校長会の活動

<本部の活動>

県退職公務員連盟との教育懇談会も開催

教育振興部



現職校長会との教育懇談会



県教委・市町教育長会連合会との教育懇談会



県・高・P 連合会との教育懇談会

福利厚生部



グラウンド・ゴルフ大会



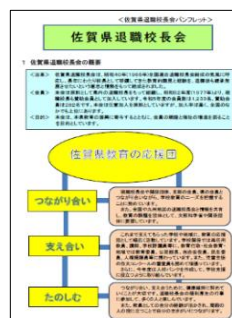
支部持ち回り視察研修会(太良町・雨の海中鳥居で)



(鹿島市・酒蔵通りでの散歩)

広報情宣部

- 写真 (左から)
- 1 会報: 年2回発行
 - 2 会員の交流広場
年2回発行
 - 3 退職校長会パンフレット
年1回発行



＜支部の活動＞

(1) 現職・退職校長会合同研修会・懇親会（唐松支部）



唐松支部では、毎年秋に、現職校長会との合同研修会を開催しています。令和4年度からは、「学校支援」をテーマに、現職・退職校長が膝つき合わせて語り合うグループ協議をメインにした研修会へと模様替えしました。

令和5年度は、「パネルディスカッション⇒グループ協議⇒全体会」という形で行い、「学校現場の悩みを一緒にうなずいて聞いてくださった」（現）、「教員になった幸せを伝えていきたい」（現）、「学校現場の大変さがよく分かった」（退）、「今後もできる限り学校支援を続けていきたい」（退）など、思いを共有し結びつきが深まる研修会になりました。

令和6年度は、学校支援・子ども支援を続ける退職校長の姿や現職校長の声を、約20分の「ビデオレター」にまとめ、視聴後にグループ協議を行う予定です。外町小校門前で朝のあいさつ運動を続けておられる、91歳の新郷敏明先生の元気なお姿も登場します。研修会後の懇親会とも合わせ、さらに親睦が深まることを願っています。

(2) 現職校長会との合同研修会（三養基支部）



三養基支部は、5月11日支部総会の終了後に、現職校長2名（小・中各1名）から「学校現状と課題について」という演題で講話をしてもらいました。お二人の話が終わった後、「退職校長会として協力できること」等について意見交換を行いました。その中でみやき町教育委員会が募集している「補充学習指導員」について、支部長から話をし、協力をお願いしました。

その後、懇親会では、酒を飲みながらの話も意見交換会の続きになり、参加者にとり貴重な時間となりました。現職校長からは「退職校長会にお願いしやすい雰囲気ができた。」また、退職校長から「学校の課題がよく分かった。協力できることはやらせていただきたい」等の意見があり、現職・退職校長との親睦が一層深まった研修会・懇親会になりました。

(3) 現職校長会との夏季研修会(レクリエーション・懇親会)(西松浦支部)

8月3日土曜日、午後1時30分から有田町生涯学習センター軽運動室にて、毎年恒例の標記研修会を開催しました。酷暑が続く毎日でしたが、クーラーがきいた部屋で総勢11名の参加で実施しました。退職校長会は参加が少なく残念ではありましたが、現職校長会は全員の参加をいただき、楽しいひと時を過ごすことができました。種目はベタンクで誰もが分かりやすく、和気あいあいの中で盛り上がる事ができたのは何よりでした。



終了後は、懇親会を行い学校現場の苦労話や、退職校長会としてできることなどについて話し合うなど、有意義な時間を過ごすことができました。

(4) 会員研修会「会員発表」(杵島支部)



5月26日(日)、退職校長会杵島支部定期総会を開催しました。コロナ禍を経て今年は通常の活動ができることを会員が強く望んだ総会となりました。総会時の会員発表として、白石町教育委員会の下平博明先生を講師に、「地域と共にスポーツ・文化活動の在り方を考える」という演題で発表していただきました。白石町の3中学校は4月より統合し、新「白石中学校」が誕生しています。

部活動の地域移行が全国的な話題となっている中、白石中では陸上部は開設せず、全てが白石アスリートクラブに移行されました。この経緯を具体的な事例を挙げながら発表されましたが、私達会員の一人一人が、学校の応援団として今後いかに部活動の地域移行に関われるのか、大きな示唆をいただいた発表でした。

4 会員の声より

『退職校長会は 佐賀県教育の応援団』

退職後は、再任用で地元の学校に勤務し、充実した日々を送っています。今、小・中学校は教員不足だけでなく、大量採用による組織の若返りも問題となっています。そのような学校現場では、教職経験者のマンパワーによる支援がとても感謝されているところです。退職校長会の「人材バンク」の取組は、まさに時宜を得たものと実感しています。

佐賀県教育の応援団の一員として、「つながり合い」「支え合い」ながら、退職後の人生を有意義に「たのしみ」しましょう。
(令和4年入会)

『楽しんでます』

73歳まで続けていた野球をやめ、今は佐賀県シニアソフトボール連盟のハイゴールドクラスで若い頃やっていたソフトボールを楽しんでいます。武雄市にはこのクラスのチームがないため、唐津市のチームに入り週2回練習に通っています。ハイゴールドクラスは72歳以上の人たちですが、スローピッチではなくファーストピッチなのでとてもスピード感があります。若い頃、国体や全国大会等で活躍されていた方や職場やクラブチームでプレーされていた方が多く、普段は腰が痛い、膝が痛いと言っている方もユニフォームを着れば誰もがスーパースターで、72歳以上とは思えない若々しい試合が展開されています。私の目標は85歳まで楽しむことです。

(平成21年入会 武雄市支部 金丸勝美)

『退職校長会へ入会して』

早いもので入会して6年が過ぎようとしています。昨年から副理事として、嬉野部の世話をしたり、地区の編集委員として活動したりしています。主体的に活動に参加してみて、当初の印象とは違って緊張せずに、他の皆さんと和気あいあいとした中で活動することができています。私は退職校長会へ入会するのが当たり前と思っていましたが、最近では入会を断ったり、退会を希望する方があったりしていると耳にします。私は、様々な学びのあるこの会に関わっていいかなと思います。

(平成30年入会 藤津支部 西山正治)

佐賀県退職校長会

URL: <https://saga-taikoukai.jp/>

二次元コード→

〒840-0815 佐賀市天神二丁目3-7

TEL・FAX: 0952-25-5963

E-mail: taikoukai@jupiter.ocn.ne.jp

